

令和6年2月下水道革新的技術実証事業評価委員会

「特殊繊維担体を用いた余剰汚泥削減型水処理技術実証事業((株)IHI環境エンジニアリング・帝人(株)・日本下水道事業団・辰野町共同研究体)」
フォローアップ審査 総括

○本技術について、下記の観点からフォローアップ審査を実施した。

- ・本技術の自主研究期間を通じた長期運転時の安定性の確認。
- ・本技術の自主研究を踏まえたガイドラインの見直しの必要性等に関する確認。

○審査における質問・意見・回答等について次のとおり総括する。

- ・自主研究は終了。
- ・本技術の長期的な運転を通じて、ガイドラインに示す性能が確保されていることを確認した。
- ・DO濃度管理値の見直し(下限値の引き上げ)を行うことにより、処理性が改善されることを確認した。
- ・また、低水温期においても曝気風量を増加させることで、安定して硝化が行われることを確認した。
- ・自主研究の成果については評価委員会の意見を踏まえ、ガイドラインの見直しは行わず、今後、参考情報としての公表等について国総研において検討していく。